

出光

keep the turf green. keep the earth clean.

イテコンポ 

イデコンポは、ターフクオリティの維持・向上とコストミニマムのコース管理をサポートする、環境にやさしい出光のバイオ技術商品です。

イデコンポは、自然界に存在するバチルス菌の中でも土壌微生物相の健全化作用やセルロース分解力に優れた菌をセレクトして活用。サッチ・刈りカスを堆積させず、その場で分解し肥料として再利用するリサイクルシステムをつくります。フェアウェイ用イデコンポは、このバチルス菌と有機率の高い肥料成分を配合した機能性有機肥料です。芝の成長を緩やかにすると同時に刈りカスからの養分を根部から無駄なく吸収させ、刈り込み回数と刈りカス量を軽減。バチルス菌によるサッチコントロールを通じて、ターフ全体の育成環境を改善し、フェアウェイをサッチ・刈りカスの「リサイクル場」に変えて、効率的かつローコストでコースコンディションの維持・向上を図ります。



1 芝が変わる。

イデコンポが刈りカスを分解させるため、サッチが堆積し続けることなく、サッチ層は適正な厚さに保たれます。その結果、ターフ表層の透水性と通気性が向上し、病害虫が棲みにくく、健全で美しい芝を育てる環境に変わります。



イデコンポ無散布区

未分解のサッチが堆積し、枯れた芝が浮き出して芝生が白っぽく見える。



イデコンポ散布区

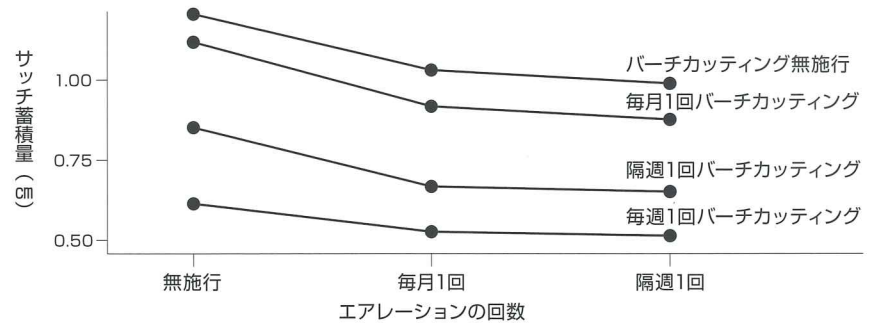
バチルス菌の働きによってサッチを分解→栄養分として還元するリサイクルシステムができ、芝の芽数が増え鮮やかな緑が保たれる。



2 管理が変わる。

フェアウェイにサッチが堆積すると、春の萌芽や除草剤・殺菌剤の効用に悪影響を及ぼします。月1回のエアレーション、バーチカルなどで対策を図って刈り込み頻度を上げて、サッチの分解は追いつきません。イデコンポは、サッチ・刈りカスを分解して再利用することにより、刈りカスの回収、処理にかかる作業やコスト負担を軽減。メンテナンスの課題を解決します。

エアレーションの回数とサッチコントロール



バーチカルの頻度を上げなければサッチ除去はできない。



3 環境が変わる。

イデコンポは、通常の化成肥料に比べて芝の生長を緩やかにするため、刈り込み回数を軽減でき、さらに、焼却処分などは不要となります。その結果、産業廃棄物やCO₂削減にもつながり、環境に配慮したコース管理が可能になるのです。

イデコンポのCO ₂ 削減効果	従来のコース管理 (化成肥料使用/刈りカス持出し)	イデコンポ使用の場合	
		①刈りカス持出し	②刈りカス放置
フェアウェイの刈り込み回数	8回/月	4回/月	4回/月
フェアウェイの刈りカス発生量	138トン/年	69トン/年	69トン/年
フェアウェイの刈りカス持出し量	138トン/年	69トン/年	0トン/年
フェアウェイ刈り込み時の燃料発生量	6KL/年	3KL/年	3KL/年
持出しした刈りカス焼却処分によるCO ₂ 発生量(①)	81トン/年	0トン/年	0トン/年
刈り込みによるCO ₂ 発生量(②)	14トン/年	7トン/年	7トン/年
CO ₂ 発生量(①+②)	95トン/年	48トン/年	7トン/年
CO ₂ 削減量	47トン/年	88トン/年	
CO ₂ 削減率	49%	93%	

*千葉県全域のゴルフ場で排出される年間刈りカス量をもとに、1ゴルフ場あたりの刈りカス量を試算しています。

バチルス菌と有機肥料の働きで、刈りカスをフェアウェイ内でリサイクル。

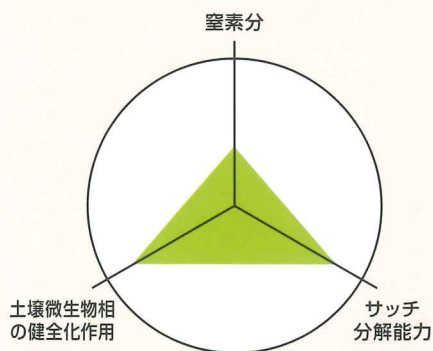


ニーズに応じてお選びください。

フェアウェイ用には、窒素分、土壤微生物相の健全化作用、サッチ分解能力のバランスが異なる、3種類のイテコンポをご用意しました。ターフの状態や管理ニーズ等に応じてご利用いただけます。植物性有機質（ナタネ粕、大豆粕、米糠）を原料とした指定配合肥料のため、肥料焼けや匂いの心配はありません。

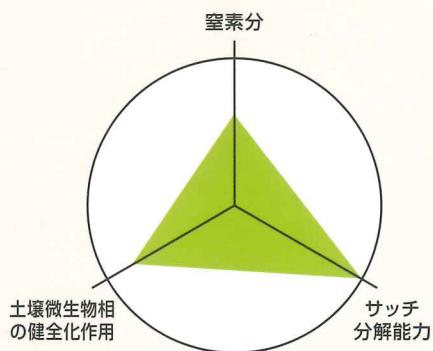
イテコンポ 21S

土壤微生物相の健全化作用と、窒素分を抑えた設計により、芝の伸長を緩やかにし、刈り込み作業の負担を軽減します。分解したサッチが肥料効果を発揮し、肥効を持続させます。



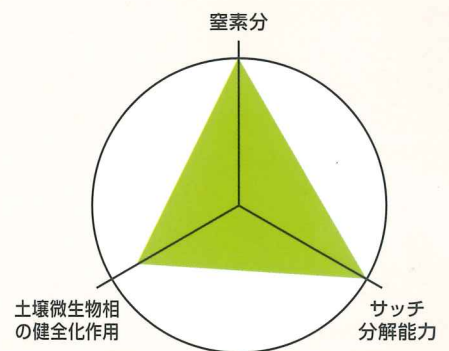
イテコンポ NX

サッチ分解能力と窒素分を高め、葉色の立ち上がりを向上。秋の使用でも高い効果を発揮。大豆粕配合により、2種類のバチルス菌の初期増殖を促進し、肥効を持続させます。



イテコンポ EV

2種類のバチルス菌の働きで、土壤微生物相の健全化作用とサッチ分解能力をパワーアップ。ペレットサイズのさらなる細粒化と崩壊性の向上により、散布後の目立ちをさらに抑制します。



◆製品内容

〈指定配合肥料、20kg袋〉

品名	ペレットサイズ	肥料成分 (%) N-P-K	その他成分含量 (%) <small>※参考値</small>				有機率	含有微生物	使用量	使用時期
			ケイ酸	腐植酸	石灰	苦土				
イテコンポ 21S	3.0mm×4.0~5.0mm	4-3-1	3.0	8	11.0	1.0	73%	<i>B.subtilis</i>	30~40g/m ²	3~11月
イテコンポ NX	2.5mm×2.5~4.5mm	6-2-5	1.6	22	1.0	1.3	72%	<i>B.subtilis</i> <i>B.pumilus</i>	30g/m ²	3~11月
イテコンポ EV	2.5mm×2.5~4.5mm	10-2-4	3.2	22	1.3	0.7	66%	<i>B.subtilis</i> <i>B.pumilus</i>	30g/m ²	3~11月

※その他、有機原料由来の鉄、マンガン、ホウ素などの微量元素を含む。



イデコンポ

イデコンポG

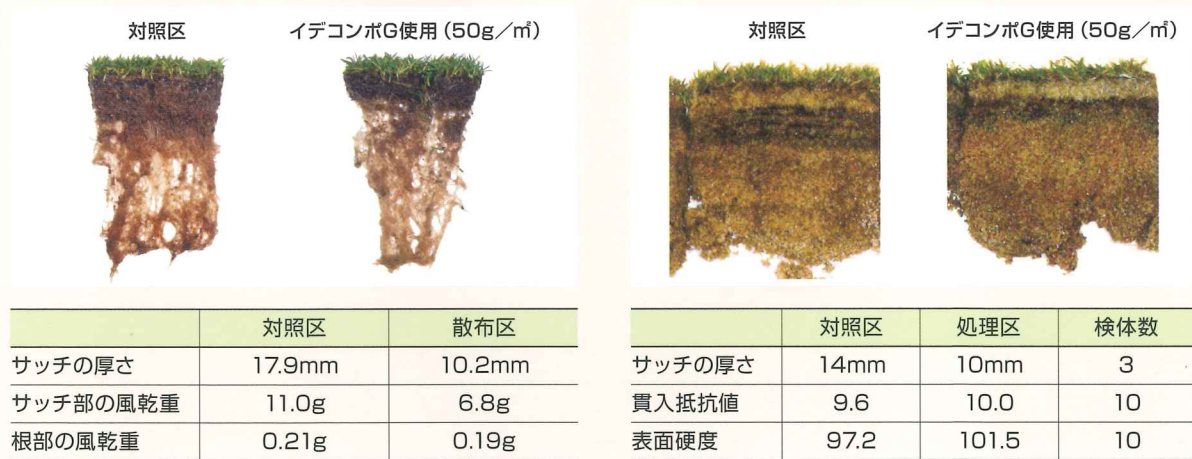
イデコンポGS-R

バチルス菌の働きで、グリーンのサッチコントロールを持続的にサポート。



バチルス菌がサッチ分解を促進し、芝の育成環境を改善します。

バチルス菌は、その増殖過程で植物残渣を分解する酵素を産出し、その酵素がサッチを分解していきます。スポーツターフであるグリーンでは、サッチ層の急激な変化は好ましくありません。グリーン用のイデコンポは、更新作業において好適な土壤微生物の活性化をサポートするサッチ分解促進剤です。長く緩やかに確実な効果を発揮するバチルス菌を活用し、芝の育成環境を改善します。



西日本グリーン研究所での試験

●コース管理作業や土壌環境に応じてお選びください。

イデコンポGは細粒のため、通常の肥料散布機で容易に散布可能。更新作業時の併用が効果的です。イデコンポGS-Rは水和タイプのため、農薬や液肥等の資材と混用可能。スーパーパーの入れない法面ラフ等での使用も可能です。

◆製品内容

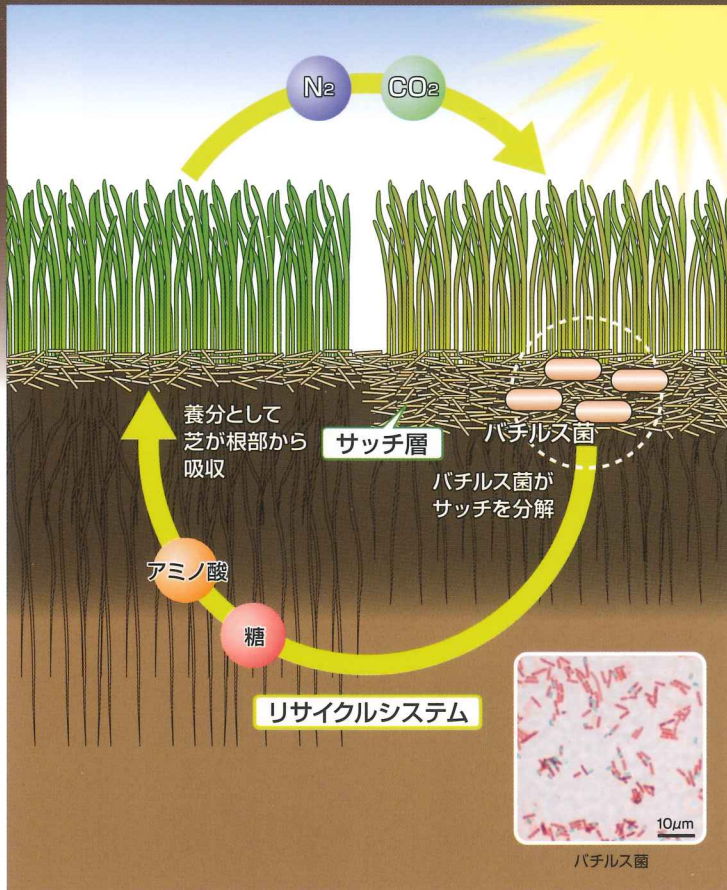
品名	規格	成分	含有微生物	標準使用量	使用時期
イデコンポG	細粒 (10kg袋)	硬質ゼオライト	<i>B.subtilis</i>	40~50g/㎡	3~11月
イデコンポGS-R	水和タイプ (250g×12袋)	界面活性剤 増量剤など	<i>B.subtilis</i> <i>B.pumilus</i>	0.2g/㎡	3~11月

イデコンポ=idecompoの商品名：
出光=idemitsuと「分解」を意味する英語
decomposeの組合せ。

●イデコンポ、IDECOMPOは出光興産の登録商標です。



イデコンポがリサイクルシステムをつくりだし、芝生の生育環境を好適な状態に保ちます。



■イデコンポがつくるリサイクルシステム

刈りカスや芝生から発生する残渣などのサッチを、イデコンポのバチルス菌が分解。分解によって産出されたアミノ酸や糖は、栄養分として芝生の根部から吸収されます。また、吸収されなかったアミノ酸は土壤中の微生物によって窒素に分解され、糖は微生物のエネルギー源に。

イデコンポの働きがこの循環をつくり出し、芝生の生育環境を好適な状態に保つリサイクルシステムを創成します。

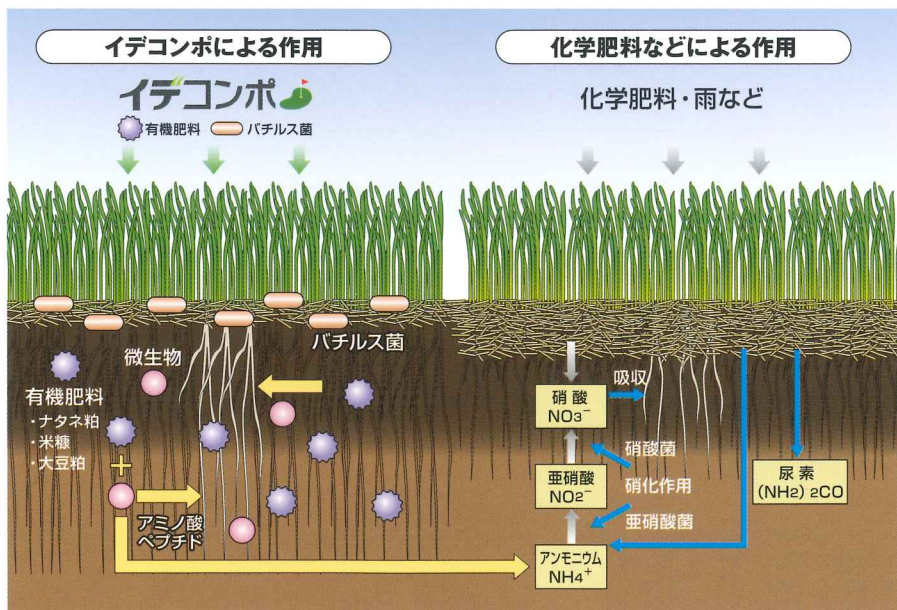
さらに、サッチ分解によって、芝生の生育環境はこう変わる!

◆表層の透水性と通気性が向上

→バチルス菌など好気性微生物が棲みやすく、芝の育成を阻害する嫌気性分解菌が生息しにくい環境をつくります。嫌気性分解菌が産出する硫化水素ガスやメタンガスなど有害物質発生の心配も不要に。

◆農薬の効果安定

→サッチ層が常に適切な厚みに保たれるため、除草剤や殺菌剤など農薬の効果が、より安定します。



有機物を微生物の力で分解させることで、アミノ酸からアンモニウムイオンまでを吸収させて、芝生の活力を高められます。

イデコンポの効果

〈1〉ターフクオリティの維持・向上

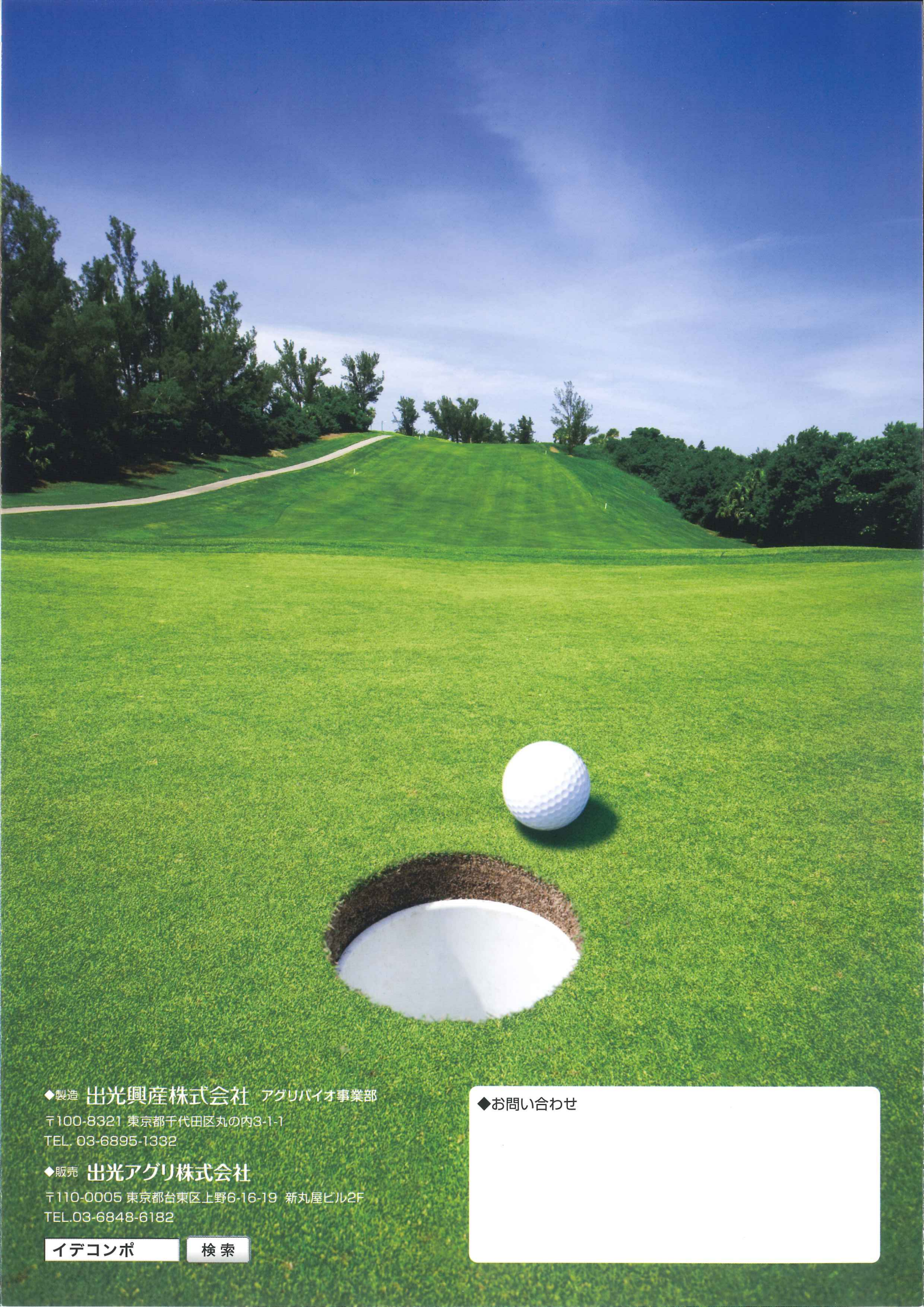
- ◇ マット感の解消
- ◇ 根部の活性化
- ◇ 芽数増加
- ◇ 葉色の維持

〈2〉管理作業の負担軽減

- ◇ 更新作業の補完
- ◇ 刈りカス処理の軽減
- ◇ 集草作業の軽減

〈3〉環境負荷の軽減

- ◇ 刈りカス廃棄量の削減
- ◇ 農薬・化学肥料の削減



◆製造 **出光興産株式会社** アグリバイオ事業部

〒100-8321 東京都千代田区丸の内3-1-1

TEL. 03-6895-1332

◆販売 **出光アグリ株式会社**

〒110-0005 東京都台東区上野6-16-19 新丸屋ビル2F

TEL.03-6848-6182

◆お問い合わせ

イデコンポ

検索